

# 公益社団法人福知山市文化協会

## 令和8年度第1回総会議事録

- 1 日 時 令和8年5月26日（火） 19時～20時45分
- 2 場 所 市民交流プラザふくちやま 市民交流スペース
- 3 正会員数 団体数：37団体 個人数（理事）：17名 合計：54団体・名  
（定足数28団体・名）
- 4 出席者 団体数：33団体 個人数（理事）：17名 合計：50団体・名  
会場出席者：20団体・15名

### 団体会員

水墨画を楽しむ会（坪倉晶子）  
お城に花を咲かせよう会（吉田博）  
カワイダンスエージェンシー（澤田葉子）  
松寿会（福山和子）  
丹波歌人社（須原京子）  
丹波マンドリンアンサンブル（稗田勅子）  
千寿紗会（折杉浅子）  
茶道裏千家淡交会両丹支部福知山分会（中島和子）  
都山流尺八竹韻会（田中幸巳）  
俳画同好会（阪根早苗）  
福知山市合唱連盟（山路聖市）  
福知山市俳句連盟（西村滋子）  
福知山演劇サークルわっぱ（足立安幸）  
福知山ギター合奏団（足立由香理）  
福知山吟剣詩舞道総連盟（織田繁樹）  
福知山史談会（森真哉）  
福知山市民川柳同好会（木戸利枝）  
福知山書道連盟（徳永貴光）  
福知山箏曲連盟（桐村久美子）  
福知山ハーモニカ同好会（足立常秋）

以上 20団体

### 個人会員（理事）

足立由香理（遅刻）	池田 聡	大槻 紘	大西裕美
大橋恒雄	尾松克巳	折杉浅子	塩見榮子
田淵百合子	徳永貴光	稗田勅子	前原克子

山路聖市

以上 15名

書面表決書提出者：13団体・2名

団体会員

ウクレレサークル花々（梅原豊）  
貝谷バレエ福知山研究所（大田奈里）  
華扇会（前野一子）  
木村流大正琴琴遊会（奥村博之）  
梢バレエサークル（一井眞弓）  
こども将棋教室福知山（足立昌昭）  
都山流尺八菖友会（井本早紀）  
ハラウ・フラ・オ・カメレアロハ福知山教室（千原明子）  
売茶真流福知山支部（正木義昭）  
福知山囲碁協会（岡田知）  
福知山華道連盟（垣尾春恵）  
福知山写真連絡協議会（和久秀輝）  
福知山謡曲同好会（外賀伊三雄）

以上 13団体

個人会員

桐村一彦 塩見正仁

以上 2名

監事出席者

榎原博雄

以上 1名

5 欠席者 団体数：4団体 個人数（理事）：0名 合計：4団体・0名

団体会員

音楽ユニット音芸師・HOMURA・（霜澤真）  
米傳福踊会（塩見則和）  
スタジオブルミエール（坂入泰光）  
福知山淑徳和太鼓（山口大介）

以上 4団体

個人会員 0名

監事欠席者

山口誠

以上 1名

6 議 題	第1号議案	令和7年度事業報告について	報告事項
	第2号議案	令和7年度収支決算について (令和7年度定期監査報告について)	承認事項
	第3号議案	次期役員を選任について	決議事項

7 議事の経過及びその結果

定刻19時、司会者池田聡専務理事兼事務局長より上記出席状況の報告があり、定款

第17条第1項の規定により本総会が有効に成立した旨を宣言した。(開会時会場出席者20団体・15名)

さらに、第1号議案及び第2号議案については、4月25日に監査を受けるとともに、5月8日に開催した第1回理事会において、第3号議案を含めいずれの議案も全員賛成にて議決したうえで本総会に提案している旨、報告があった。

次いで定款第15条の規定に基づく議長の選出方法を諮ったところ、事務局一任との声があり、議長に都山流尺八竹韻会の田中幸巳氏を指名することについて承認を求めたところ、一同これを了承するとともに田中氏もこれを承諾した。

田中氏は議長席に着き、審議に先立ち、定款第18条の規定に基づく議事録署名人について慣例に従い事務局による推薦で選定することとし、議長のほか、丹波歌人社の須原京子氏及び理事でもある千寿紗会の折杉浅子氏の2名を指名することについて承認を求めたところ、一同これを了承するとともに2名もこれを承諾した。

さらに、定款に定められていない採決の方法について、第1号議案及び第2号議案については慣例により挙手で行い、第3号議案については無記名の投票で行うことについて承認を求めたところ、一同これを了承した。

次いで田中議長の進行により、下記のとおり審議した。

## 記

### 第1号議案 令和7年度事業報告について

最初に、田中議長より、「第1号議案 令和7年度事業報告について」及び「第2号議案 令和7年度収支決算について」を一括議題とする旨、宣言があった。

田中議長の指示により、最初に前田会長より令和7年度事業報告及び収支決算の概要について、次のとおり説明があった。

#### 〔事業の概要〕

令和7年度は、各種事業を概ね計画どおり実施し、市民への文化活動の機会提供と加盟団体間の連携強化を図ることができた。

一方で、会員の高齢化による会員数の減少などの課題が引き続き見られた。

#### 〔決算の概要〕

令和7年度は大幅な会費収入の減少が見込まれる中、当初から赤字を見込んだ予算編成としたが、想定以上に会費収入の減少やチケット収入が伸び悩み、事務執行や事業運営の適正化に努め支出総額は予算を下回る執行となったものの、収入総額の不足をカバーできず、令和6年度に続き赤字決算となった。

ただし、繰越財産は一定額を確保しており、現時点で運営に大きな支障はない。

## 〔総括〕

各種事業は着実に実施したものの、会費収入の減少やチケット収入の伸び悩みにより、令和6年度に続き厳しい収支状況となった。

今後は、会員の維持・拡大に向けた取り組みや集客力のある事業企画、収入確保の強化等に取り組み、持続可能な運営に努める。

続いて、田中議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より次のとおり報告があった。

## 〔第56回市民文化教室〕

講師を加盟団体の会員が務め、7月から12月までさまざまな初心者向けの教室を開設した。

受講申込が少なく中止を余儀なくされた教室もあったが、12教室で合計58回開催し、実数96名、延べ359名の受講があった。

## 〔第32回文協フェスティバル〕

2月28日及び3月1日の2日間、福知山市厚生会館で開催した。

加盟団体が一堂に集い展示部門・舞台部門ともに日ごろの活動の成果を発表する当協会のメイン事業であり、舞台部門で21団体（出演242名）、展示部門で12団体・2個人（作品229点）、交流出展3団体（作品14点）の参加があり、合わせて理事の任期中に亡くなられた芦田哲司様及び小橋美蘭様の遺作展（作品20点）も開催し、延べ1,564名に来場いただいた。

入場者数は令和6年度より大幅に増加したが、コロナ禍前に2,000名以上の来場があったことを考えると、令和6年度からグンゼ福知山配送センターを来場者の無料駐車場として確保できない影響は大きい。

## 〔特別事業〕

11月3日、福知山市厚生会館で「上方男四人衆～昭和100年！歌で時代を振り返る！！～コンサート」を開催した。

当地で一流の演奏を市民に提供する趣旨で開催しており、各団体等の協力により543枚のチケットを販売でき、439名の入場者があった。

販売枚数・入場者数とも令和6年度より大幅に増加し、プロとして活躍中のオペラ歌手によるおなじみの曲を気軽に楽しめるコンサートとして来場者アンケートでも好評を得た。

## 〔第43回福知山市合唱祭〕

1月25日に福知山市厚生会館で開催した。

市内のコーラス活動を行う各界各層が一堂に集い、32団体・延べ580名が出演し、304人の鑑賞者があった。

出演者は令和6年度より減少したが、当日、降雪により不参加となった団体があった。

また、コロナ禍前には1,000名以上の出演があったことを考えると、文協フェスティバル等と同様、令和6年度からグンゼ福知山配送センターを出演者の無料駐車場として確保できない影響は大きい。

### 〔第61回福知山市展〕

10月31日から11月3日まで4日間にわたり、今回より会場を福知山市厚生会館から市民交流プラザふくちやまに変更し開催した。

三たん地方（旧丹波・丹後・但馬地方）から作品を募集し、入賞作品の展示及び優れた作品を顕彰する公募展であり、出品者数は302名、応募数は404点、展示数は286点で、延べ2,234名の入場があった。

入場者数は令和6年度より大幅に増加したが、駐車場の確保が容易であったことが大きい。

### 〔第78回福知山市文化祭〕

年間を通じて加盟団体の会員が舞台公演や作品展示などを行い、日ごろの研鑽の成果を発表した。

各会場において合計29行事を実施し、入場者数は延べ5,056名となった。

### 〔文学のしるべ〕

資料には記載していないが、令和6年度で事業を終了したことに伴い、令和7年度で発行を予定していた建立作品集について、予算を大きく上回る経費が必要となることが判明したため発行を延期し、令和8年度で当協会創立80周年記念事業の一環として発行することに3月の総会で承認を得た。

### 〔中丹地域における文化行事に対する協力〕

京都府中丹文化事業団による第39回中丹文化芸術祭の「踊りとダンスの祭典」「中丹写真展」「コーラスフェア2025」「短歌・俳句・川柳公募'25表彰式」「邦楽のつどい」に、第11回中丹文化交流フェスタの「ジュニア文化祭」「アンサンブルフェア」にそれぞれ加盟団体が出演及び推進委員として協力した。

福知山市と舞鶴市、綾部市の文化協会が組織する中丹文化協会連絡協議会では、舞鶴市文化協会を事務局とし、10月に中丹文協連だよりを4,000部発行した。

福知山市内の旧1市3町の文化協会が組織する福知山市域文化協会連絡協議会では、

大江町文化協会を事務局とし、夜久野町文化協会の「第25回文化祭」及び大江町文化協会の「第50回文化祭」に加盟団体が交流出展に協力した。

#### 〔文化活動に貢献した団体及び個人の表彰〕

加盟団体及び本部より具申のあった候補者を顕彰審査委員会で審査の結果、表彰状を2名・2団体に授与、感謝状を1名に贈呈することとし、1月18日の新年互礼会の席上、表彰式を挙行了した。

#### 〔会誌その他出版物の発行〕

当協会の活動を広く周知するため、広報誌「しんかわらばん」を年2回、77号を7月末に、78号を3月末に各1,600部を発行した。

#### 〔文化施設の管理運営〕

貸館利用では合計9件、延べ45名の利用があったほか、当協会の会議等を含めると全体で合計10件、延べ49名の利用があった。

施設の老朽化が進んでおり、冷暖房が故障のため使用できないことから、年々利用者が減少しており、今後の利用者の増加も期待できない。

#### 〔その他目的を達するために必要な事業〕

「FM丹波『文化は心の癒し』」については、加盟18団体のほか、役員も本部行事の周知のため出演し、協会の事業や加盟団体の文化活動を市内外に広く知っていただき文化活動の振興を図った。

「福知山公立大学まちかどキャンパス『吹風舎』作品展示」については、加盟3団体に2～3ヵ月周期で作品を展示し、大学生等に加盟団体の文化活動をアピールした。

「新年互礼会」については、1月18日（日）にホテルロイヤルヒル福知山&スパで123人の出席により開催し、新年の始まりにあたり関係者が一堂に会し親睦を深めた。

「後援事業」については、8事業について後援を承認した。

その他、加盟団体や役員等の状況、主催・共催事業の会議等、公益社団法人に関する京都府への報告や京都地方法務局への役員変更登記、他団体等の会議への参画、各種行事への出席、福知山市社会教育関係団体に係る市民交流プラザ等会場使用料減免申請について報告があった。

#### 〔運営体制の充実を図るための取組〕

「外部役員の登用」については、現在の役員の改選時に最低1名は外部監事を設置しなければならないが、理事については小規模法人の特例で外部理事を設置する必要はないが、当協会ではすでに条件を満たしている。

「情報公開の向上」については、当協会のホームページの改修の際、各種情報公開デ

一タを掲載し、組織の透明性を高めた。

「職員の研修派遣」については、事務局職員を新公益法人制度に関する外部セミナーに派遣し、運営基盤の充実を図った。

## 第2号議案 令和7年度収支決算について

田中議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

### 〔貸借対照表及び注記〕

新公益法人制度への移行に伴い、今回より、貸借対照表をはじめ各種資料を令和6年「公益法人会計基準の運用指針」に示された様式に準拠し作成した。

資産合計及び負債・純資産合計はそれぞれ2,532万8,334円となり、前期の2,585万9,086円と比較すると、53万752円の減少となった。

負債合計は19万4,316円となり、前期の16万7,699円と比較すると、2万6,617円の増加となった。

純資産合計は2,513万4,018円となり、前期の2,569万1,387円と比較すると、55万7,369円の減少となった。

### 〔活動計算書及び注記〕

経常収益の資産運用益は3万7,113円となり、前期の2,747円と比較すると、利率の大幅な上昇により3万4,366円の増加となった。

受取会費は180万2,000円となり、前期の195万5,000円と比較すると、会員数の大幅な減少により15万3,000円の減少となった。

受取会費は入会金及び会費に関する規則第4条の定めにより、公益目的事業に4割、公益目的事業以外に6割を配分した。

受取補助金は福知山市への請求内訳を基準に、受取負担金は福知山市との共催事業の2分の1以内の精算内訳を基準に、公益目的事業会計及び収益事業等会計及び法人会計に配分した。

受取寄付金は、令和7年度で解散された団体より、当協会の事業や運営全般に役立ててほしいと10万円の寄付があった。

経常収益計は602万3,753円であり、前期の607万9,747円と比較すると、5万5,994円の減少となった。

経常費用のうち、事業費は523万3,203円であり、前期の499万5,377円と比較すると、23万7,826円の増加となった。

管理費は134万7,919円であり、前期の135万7,014円と比較すると、

9, 095円の減少となった。

経常費用計は658万1, 122円であり、前期の635万2, 391円と比較すると、22万8, 731円の増加となった。

経常収益費用差額はマイナス55万7, 369円であり、前期のマイナス27万2, 644円と比較すると、28万4, 725円の赤字の増加となり、2年連続の赤字決算となった。

財源区分別内訳の指定純資産は、定期預金の合計2, 000万円である。

会計区分及び事業区分別内訳の当期収益費用差額は、公益目的事業会計でマイナス24万996円、収益事業等会計でマイナス19万5, 985円、法人会計でマイナス12万388円、合計でマイナス55万7, 369円となった。

事業費・管理費の形態別区分は、給料手当から福利厚生費までの人件費は事務局長及び臨時職員の従事割合により配賦し、人件費以外は直接執行した費用を積み上げそれぞれの会計に分類した。

公益目的事業会計が470万3, 793円、収益事業等会計が52万9, 410円、法人会計が134万7, 919円、合計が658万1, 122円となった。

その他、令和7年度収支決算集計表により、予算との比較との観点で差額の大きいものについて説明があった。

公益法人に義務付けられた50%以上の公益目的事業比率は、71.5%となった。

また、資料には記載していないが、令和6年の公益法人立入検査で指摘された用途不特定財産（改正前の遊休財産）の保有制限超過の改善状況は、43万225円の超過となり、前期の122万9, 479円と比較すると、79万9, 254円の改善となった。

ここで田中議長の指示により、榎原博雄監事より議案資料に基づき、監査の方法及びその内容に基づく監査の結果として、「事業報告は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認める」「理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められない」「計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める」との監査報告があった。

なお、前年度に引き続き単年度収支が大幅な赤字となった件について、「繰越財産の状況から直ちに財政運営に重大な支障を及ぼすものではないが、今後は収支の均衡に十分留意した事業運営に努められたい」との意見があった。

田中議長は第1号議案・第2号議案について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、挙手により採決を行い、出席者全員賛成のうえ改めて書面表決書の提出のあった13団体・2個人の全員から賛成の意思表示があったとの報告を合わせ、原案のとおり

り承認した。

### 第3号議案 次期役員を選任について

田中議長の指示により、前田会長より議案資料に基づき次のとおり説明があった。

役員任期満了に伴い、5月8日（金）の第1回理事会において承認した候補者は、理事については再任12名、新任13名、合計25名であり、監事については再任2名、合計2名である。

5月8日（金）に開催した第1回理事会において、記載の理事候補者25人、監事候補者2人を総会に提案することに全員一致で同意した。

任期は、理事については選任後2年以内、監事については選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとなる。

なお、会長・副会長・専務理事の選定については、定款第20条第2項の規定により、「理事会の決議によって理事の中から選定する」となっており、明日27日（水）に開催を予定している臨時理事会において選定を予定している。

田中議長は本件について質疑がないか諮ったところ発言がなかったため、公平を期すため、開票にあたり立会人として、出席者より松寿会の福山和子氏、及び福知山箏曲連盟の桐村久美子氏の2名を指名することについて承認を求めたところ、一同これを了承するとともに2名もこれを承諾した。

無記名投票による採決の結果、書面表決書の提出のあった13団体・2個人の全員から賛成の意思表示があったとの報告を合わせ、理事については足立候補47票、池田候補48票、岩木候補48票、大槻候補46票、大西巧候補48票、大西裕美候補48票、荻野候補47票、衣川候補47票、吉良候補47票、桐村一彦候補48票、桐村操候補47票、塩見候補47票、谷垣候補48票、田淵候補48票、坪倉候補47票、徳永候補48票、中島候補48票、西川候補47票、稗田候補47票、細谷候補47票、前田竹司候補48票、前田剛候補48票、村上候補47票、山路候補47票、吉田候補48票、監事については榎原候補47票、山口候補47票となり、いずれの候補者も投票総数50票から無効投票2票を差し引いた有効投票48票の過半数の得票を得たため、原案のとおり可決した。

### 報告第1号 会員の退会について

田中議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり報告があった。

3月31日をもって退会したい旨、琴城流大正琴KOTONEの代表・西村聡美様から退会届の提出があった。

### 報告第2号 会員の退会について

田中議長の指示により、池田専務理事兼事務局長より議案資料に基づき次のとおり報告があった。

3月31日をもって退会したい旨、一般社団法人福知山芸術文化振興会の代表・吉田佐和子様から退会届の提出があった。

以上で田中議長は議案の審議の終了を宣言した。

## その他

田中議長はその他、出席者に意見や提案を求めたところ発言はなく、以上をもってすべての審議を終了し、20時45分、田中議長は閉会を宣言した。

上記、議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成した。

議事録作成者

公益社団法人福知山市文化協会

専務理事兼事務局長

池 田 聡

本議事録の記載に相違ないことを認め、これに記名押印する。

令和8年5月27日

公益社団法人福知山市文化協会 令和8年度第1回総会

議 長 田 中 幸 巳 ⑩

議事録署名人 須 原 京 子 ⑩

議事録署名人 折 杉 浅 子 ⑩